

## &lt;JSAS 提携学会「IMCAS Asia」からのお知らせ&gt;



## IMCAS Asia 2017 開催決定！ JSAS 会員もぜひ参加ください。

日本美容外科学会の提携学会の一つ、「IMCAS」の第11回アジア大会が、2017年7月21日から23日まで開催されます。今年の開催地は、リゾート地として人気のインドネシア・バリ島。

IMCAS の人気セッション「Anatomy on Cadaver Workshop」は、フレッシュなカダバーを解剖しながら生体へ同じ施術を行うというもの。今回は注入と糸をテーマに21日14時から3時間を予定しています。他にも、レーザー/マシン系治療、婦人科形成、顔面整形、豊胸、脂肪注入等々、多種多様なプログラム構成となっています。

会場となるのは「ウェスティン リゾート ヌサドゥア」。

トロピカルでラグジュアリーな避暑地という最高のロケーションで、最高級美容医療の技術・知識を習得しませんか？

### ■JSAS 会員限定特典

日本美容外科学会の会員様に限り、

「IMCAS Asia 2017 参加+IMCAS アカデミー※」

セットを15%オフいたします。

申込時に以下のプロモーションコードを入力ください。

【プロモーションコード：JSAS2017】

※IMCAS アカデミー：

過去のIMCASセッション、レクチャーなどを動画視聴できる会員制サイトです（有料）。

### ■IMCAS Asia 2017 申込方法

IMCAS のWEBサイトよりお申込みいただけます。

宿泊予約も同時に可能です。

URL：<https://www.imcas.com/en>

IMCAS Asia へのご参加をお待ちしております！



2017年  
6月15日(木)  
第022号  
一般社団法人 日本美容外科学会  
〒108-0075 東京都港区港南2-3-1  
大倉山ビル4F  
Tel.03-3776-3667



日本美容外科学会新聞

JAPAN SOCIETY OF AESTHETIC SURGERY  
JAPAN FOUNDATION OF AESTHETIC MEDICINE

日本美容外科学会  
公式新聞

今月号の  
主なお知らせ

第105回日本美容外科学会報告

## 第105回日本美容外科学会(JSAS)

### 【御礼とご報告】 信頼される美容医療を目指して

#### 学会参加者 800 名を超える盛況に

皆様のご協力のもと、第105回日本美容外科学会が、5月16、17日にANAインターコンチネンタルホテル東京にて開催されました。今年は、第1回から数えて50周年にあたり、学会参加者が約800人、懇親会参加者が約250人と盛況になりました。

ご報告も兼ね、学会を振り返ってみたいと思います。

まず、学会行事は、前夜からスタートし、各セッションの座長、シンポジストをお招きし、顔合わせ、打合わせを兼ねた、プレミーティングから始まりました。私の挨拶、保志名先生の挨拶の後、乾杯の音頭は、北里大学の武田教授にお願いしました。明日に備えて、2時間弱で終了しました。

いよいよ当日の朝、午前8時から受付スタート、8時55分、開会の辞。「私達、個人の医師が経験できる症例は限られています、それぞれの上手くいった症例、難渋した症例を持ち合い共有する事にこそ学会の意義があると考えます。」という趣旨の挨拶をしました。

まず、ルームAで「鼻尖・鼻翼・鼻中隔」のシンポジウム、ルームBで「機器によるアンチエイジング」のシンポジウムがスタートしました。この日の午前中は、他に「豊胸」「一般演題」の各セッションが予定通り行われました。

午後からは、新理事長になられた保志名先生から挨拶があり「美容医療は、幸福医学であり、常々、梅澤文彦先生が言われていた、一党一派や人種、宗教、国籍に偏らずという大原則を引き継ぎ、JSASの発展に尽力したい。」とのお話をされました。そして、この1月19日に亡くなられた梅澤文彦先生に対し、黙祷を捧げ、さらに、JSASの発展の最大の功労者である梅澤文彦先生の実績を讃え、ご子息の梅澤仁先生に感謝状を贈呈しました。

続いて、特別講演1、日本形成外科学会理事長 細川互教授による「これからの美容外科」についてのご講演がありました。美容医療の健全化のため、新専門医制度も含め、関係学会がそれぞれ協力し合う事の重要性、医療材料の個人輸入の問題、適正な料金体系を築く必要性にも言及されました。日本形成外科学会等、関係学会が、それぞれお互いに尊重しつつ、国民に信頼される美容医療に発展するには、どのような道筋が良いのか、考えさせられるお話でした。

午後2時15分からは、ルームAは「再生医療」、ルームBは、韓国の先生方による「K A A Sセッション」同時通訳付きでした。ルームCは、歯科の先生方によるセッションでした。

特別講演2は、厚生労働省から、佐藤伸樹企画官の講演でした。国会審議と重なったため講演時間の短縮のなかでお話し頂きました。現状の広告規制は、比較的緩やかではありますが、法外な事を行っている医師が存在する限り、今後も規制が入り、強化される事になります。私達自身を守るためにも、法外な医師に警告を発することも重要と思われまます。

今年から日本美容皮膚科学会との連携が始まり、ルームCにて、美容皮膚科のセッションが行われました。

一日目の最後は、修正手術のシンポジウムでした。各シンポジストは、修正手術の症例が集まってくる先生方で、普段診る機会の少ない症例に学ぶ事も多かったと思います。

さて、夜の部は、懇親会です。

私と保志名理事長の簡単な挨拶後、まず、参議院議員 岡田広先生、続いて、衆議院議員 伊東信久先生が挨拶されました。鏡割りの後、衆議院議員 勝沼栄明先生に乾杯の音頭を取って頂きました。そして、歓談、食事です。立食形式ですが、握り寿司のコーナーもあり、外国の方にも喜んで頂けたと思います。その間に、鎌田ひかりさんの歌、美人過ぎる音楽家達の演奏がありました。久しぶりに顔を合わせる元同僚、先輩、後輩が、あちこちで見つかり、同窓会のようにもなり、食べて飲んで楽しい時間でした。その後、三々五々、六本木の間に消えていきました・・・。

二日目

朝9時スタートです。

ルームA「眼瞼」、ルームB「機器による部分痩身」のシンポジウム、そしてルームCは、日本美容内科学会によるセッションでした。

午前中は、フィラーのシンポジウムもあり、従来の施術に加え、進化した施術について発表していただきました。

午後1時から、第106回美容外科学会の学会長委嘱式がありました。保志名理事長から、綿引一先生に学会長としての委嘱がなされ、それぞれ、ご挨拶されました。

続いて、特別講演3、北里大学、武田啓教授による「毛髪医療の基礎と研究」についてのご講演で、毛髪についての内科と外科からのアプローチ、再生技術による将来性について学ぶことができました。

ルームBでは、IMCASセッションがあり、海外での美容医療のトレンドを知ることができたと思います。

シンポジウムの最後は、「スレッドリフト」でした。

二日目の午後、後半でしたが、ルームAも一杯に埋まり、活発なディスカッションがあり、盛況のうちに終了しました。

他に、アートメイクのセッション、日本化粧品検定の試験も行われました。

すべてのセッションが予定通り終了したところで、閉会の辞、そして閉会となりました。

最後に、無事、盛会のうちに終えることができ、学会員を始め、一年間にわたりお手伝い頂いた学会運営スタッフ等、多くの方々に感謝いたします。また、協賛企業様におかれましては、ランチョンセミナー、スポンサーセミナー、特別ブースを始め各ブース等にご出展いただき、厚くお礼申し上げます。

来年、第106回日本美容外科学会は、5月15、16日、品川プリンスホテルで開催予定です。

皆様、来年、また品川にてお会いしましょう。  
ありがとうございました。



第105回日本美容外科学会  
学会長 森上 和樹  
城本クリニック

# 第106回日本美容外科学会のご案内

日程：2018年5月15日（火）～16日（水）【予定】  
 会場：品川プリンスホテル【予定】  
 学会長：綿引 一 品川美容外科（医社）翔友会理事長

第106回日本美容外科学会の学会長を仰せつかりました綿引でございます。

こうした大役はいささか荷が重いのですが、30年間美容外科に身を置いてまいりました経験だけを拠りどころに、少しでも学会のお役に立てればと、学会長をお引き受けさせていただいた次第でございます。

コンセプトといたしましては、コンパクトであっても中身の濃い学術集会とし、会員の皆様に喜んでいただけるような学会としたいと決意しておりますので、どうかご指導ご支援をお願い申し上げます。

本来美容外科は「幸福の医学」であるといわれています。

私たちが安心安全の美容医療の提供を目指すと同時に、患者さん中心の美容医療を構築する取り組みをしっかりと行い、それらをこの機会に積極的に社会に向けて発信していく場にしたいと考えております。

一方学術面では、各分野の専門家のご講演はもとより、内外の美容外科最前線の技術、医薬品医療機器等の研究成果、症例発表など実務に役立つ内容を充実させたいと考えております。

より多くの会員の皆様ご参加いただけますよう企画してまいりますので、何卒ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます、学会長就任のご挨拶とさせていただきます。



▲委嘱式で第106回日本美容外科学会 綿引一 学会長

# 第105回日本美容外科学会(JSAS)写真



▲いよいよ明日からの学会に向けてプレミーティング



▲日本形成外科学会理事長、細川 互 教授によるご講演



▲開会の辞で第105回日本美容外科学会が始まる



▲新理事長保志名先生から梅澤仁先生へ感謝状



▲保志名先生より理事長就任の挨拶

## 日本美容外科学会事務局よりのお知らせ

- 2017年5月18日の理事会で右の「一般社団法人日本美容外科学会 平成28年度決算および29年度予算」が承認されました。
- 2017年5月に実施した専門医認定試験の合格者は村山 大、田中 智佐子、勝間田 宏、小室 好一の4名（所属、敬称略）。5月18日理事会で承認されました。
- 年会費の納入をお願いしてございますが、法人名で送金頂いて、会員氏名が分からない場合がございますので、事務局にメールで結構ですので、その旨ご指示下さい。

## 日本先進医療医師会からのご報告

当医師会特定認定再生医療等委員会は、昨年10月に厚生労働大臣より認定いただいて以来、第2種再生医療提供計画の新規審査を15件行いました。また、当委員会は、細胞加工施設の視察やクリニックへの聞き取りなど「実際」と「安全」を重要視しながら、わが国の再生医療の進展に寄与すべく取り組んでおります。培養を伴う再生医療の提供をお考えの先生は、どうぞ遠慮なく当委員会にご相談下さい。一方、3種を取り扱う再生医療等委員会は審査開始して1年半で、約200件の審査を行いました。PRPなど3種の再生医療の提供につきましては、日本美容外科学会員の先生は、問い合わせも含め何なりと事務局にご指示下さい。

一般社団法人日本美容外科学会 平成28年度決算および29年度予算

科 目	28年度決算額	29年度予算額
<b>I 事業活動収支の部</b>		
<b>1 事業活動収入</b>		
①会費等収入	6,060,000	6,040,000
②賛助金収入	100,000	200,000
③専門医受験料等収入	700,000	880,000
④会誌収入	140,400	100,000
⑤専門医プレート収入	60,000	60,000
⑥学会繰入金収入	481,879	100,000
⑦雑収入	138	500
<b>事業活動収入計</b>	<b>7,823,317</b>	<b>7,180,500</b>
<b>2 事業活動支出</b>		
①事業費支出	1,848,517	4,588,000
食費支出	15,000	10,000
通信費支出	290,847	900,000
賃借料支出	50,760	120,000
旅費交通費支出	232,206	300,000
消耗品費支出	14,670	150,000
租税公課支出	10,000	100,000
印刷費支出	187,848	1,500,000
プレート製作費支出	65,417	60,000
支払手数料支出	38,864	150,000
謝金支出	169,896	200,000
学会繰出金支出	333,200	0
雑支出	434,809	1,100,000
<b>事業活動支出計</b>	<b>1,848,517</b>	<b>4,588,000</b>
<b>事業活動収支差額</b>	<b>5,974,800</b>	<b>2,592,500</b>
<b>II 準備金支出</b>		
当期収支差額	5,974,804	2,592,500
前期繰越収支差額	13,819,068	18,698,454
次期繰越収支差額	19,793,652	21,290,954



▲各セッションとも有意義な時間に



▲鏡割り→乾杯で懇親会スタート！



▲企業ブースは活気が溢れ、新たな出会いの場に。

